

日常生活の中に「総合的な学習の時間」がとけ込み、子どもたちの豊かな「ことば」を育む

わたしたちにとっての「郷土 山野」

人が親切
自然がいっぱい
ぼくたちみんなが
自まんのだ山野

豊かな自然
昔から伝わる文化
みんな大好き山野町

自然の中で
元氣と えがおで遊ぶ
ぼくたち わたしたち

花がいっぱい
みどりがいっぱい
木々がいっぱい
山野は自然でいっぱいだ

山野のいいところ
川がきれい
地域の方々がやさしい
おいしい野菜がたくさんある
そんな山野が
わたしは、大好き

鳥の声
風の音
山がいっぱい
毎日しずかな山野はいいなあ

声だしタイムで、全校児童がたてわりグループに分かれ、「郷土山野」をことばで表現しました。そこで生まれた作品です。

(一年生の作品より)

やまののいなほ
せいかつのはなは
あきたんけんに入ったよ。
ぼくは、
たんぼのいなほを
みつけたよ。
いなほがゆれていたよ。
さらさらってゆれていたよ。
かぜがふいたら、
みんながいっしょに
ゆれていたよ。
ぼくは、
いなほは
なみみだなどおもったよ。
かぜがふいたら、
なみみだいに
ゆれていたよ。

1年生は、生活科の時間に、豊かな山野の自然から四季の変化を感じ取っています